

## 第5章 地域保健

### 第1節 母子保健

#### 1 母子保健

母親のストレスや育児不安の軽減、子どもの健やかな成長を促すことを目的に心身障害及びその疑いのある乳幼児に対して専門医や保健師等による相談を実施している。

主に精神発達面について指導助言する「幼児精神発達相談」や未熟児養育医療給付時の面接相談、未

熟児、多胎児等の訪問指導を実施した。

また、平成15年度から「母親のメンタルヘルス支援事業」の一環として、EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を実施し、産科医療機関等と連携を図り妊産婦への心のケアを実施している。

#### (1) 相談・訪問指導実施状況

表1 対象別相談訪問指導状況

平成21年度(単位：人)

区分	総数		妊産婦		新生児 (未熟児を除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児を除く)		幼児		その他 (学童以上)		
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	
相談	来所	256	402	46	67	7	11	39	59	34	75	64	86	66	104
	電話	—	1,608	—	758	—	112	—	433	—	260	—	32	—	13
訪問指導		327	464	156	196	22	28	95	154	49	77	4	8	1	1

#### (2) 母親のメンタルヘルス支援事業

表2-1 母親のメンタルヘルス支援事業実施状況

平成21年度(単位：人)

当所が産婦訪問の際に実施した状況	産後日数 1ヶ月未満	2ヶ月未満	3ヶ月未満	3ヶ月以上	計
EPDS実施数	34	67	17	17	135
EPDS9点以上者	10	14	4	3	31
要継続支援者	9	10	3	4	26
関係機関への紹介数	2	1	1	0	4

表2-2 産後1ヶ月健診でのEPDS実施状況(参考：市町実施分)

平成21年度(単位：人)

	受診者数	EPDS実施数	EPDS実施率 (%)	EPDS9点以上者数	EPDS9点以上者数の割合(%)
小松市	839	839	100.0	73	8.7
加賀市	486	486	100.0	46	9.5
能美市	444	443	99.8	25	5.6
川北町	66	66	100.0	6	9.1
計	1,835	1,834	99.9	150	8.2

(3) 幼児精神発達相談事業

表3-1 幼児精神発達相談実施状況

平成21年度

目的	幼児期において重要な精神発達状況を把握し、適切な指導助言を行い、健全な発育発達を促すと共に保護者が精神的にも安心して子育てができるように支援する。
回数	年26回
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師の問診</li> <li>・心理判定員による判定（K式発達検査）</li> <li>・小児科医師による診察</li> <li>・保健指導</li> <li>・総合評価（支援方針の決定）</li> </ul>

表3-2 幼児精神発達相談来所者状況

平成21年度（単位：人）

実人員	29	
延人員	45	
1人平均来所回数	1.6	
性別	男	23 (79.3)
	女	6 (20.7)
結果	異常なし	7 (24.1)
	異常あり	22 (75.9)
来所時年齢	1～2歳未満	0 (0.0)
	2～3歳未満	4 (13.8)
	3～4歳未満	10 (34.5)
	4～5歳未満	7 (24.1)
	5～6歳未満	6 (20.7)
	6～7歳未満	2 (6.9)

( )内は構成割合%

表3-3 来所動機 平成21年度（単位：人）

各種健康診査結果 市町村保健師より	23 (79.3)
保護者より	6 (20.7)
医療機関より	0 (0.0)
計	29 (100.0)

( )内は構成割合%

表3-4 異常の内訳

平成21年度（単位：人）

言語発達遅滞	3 (12.5)
精神発達遅滞	3 (12.5)
自閉症	7 (29.2)
高機能広汎性発達障害	6 (25.0)
知的障害	2 (8.3)
その他	3 (12.5)
計	24 (100.0)

※重複あり

( )内は構成割合%

(4) 健やか妊娠育児支援強化事業

ア 目的

多胎妊婦や若年妊婦等は、妊娠中の健康管理のみならず、出産後の育児においても困難が伴いやすい。

そこで、これらの妊婦に対し、医療機関、市町、保健福祉センターの連携により、育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目的とする。

イ 対象者

- a 多胎、若年、未婚の妊婦及び身体的、精神的疾患を抱える妊婦、その他妊娠や育児に身体的精神的困難が予測される妊婦とその家族。

- b 未熟児養育医療給付申請書及び低体重児出生届または人口動態出生票より把握し、事業実施にあたって、保護者の承諾を得た児及びその保護者。

ウ 事業内容

- a 妊娠保健指導連携事業
- b 未熟児保健医療連携事業(退院時連携)
- c 未熟児等母乳哺育支援事業（助産師による訪問）
- d 健やかすくすく教室の開催
- e 「すくすく親の会」の育成と支援
- f 外国出身ママ育児支援事業

エ 実施状況（表4～8）

表4 妊娠保健指導連携事業実施状況（妊娠週数別・紹介経路別）

平成21年度（単位：件）

	24週未満	24～27週	28～31週	32～35週	36週～	産後	計
市 町	7	—	—	1	1	—	9
医 療 機 関	2	1	3	—	1	84	91
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—
計	9	1	3	1	2	84	100

表5 未熟児保健医療連携事業実施状況（出生体重別・医療機関別）

平成21年度（単位：件）

区 分	1.0kg未満	1.0～1.4kg	1.5～1.9kg	2.0～2.4kg	2.5kg以上	総 数
石川県立中央病院	2	9	3	5	14	33
金沢大学医学部附属病院	1	—	1	1	—	3
金沢医療センター	—	—	—	2	—	2
金沢医科大学病院	—	—	—	—	2	2
恵 愛 病 院	—	—	—	14	—	14
荒 木 病 院	—	—	—	—	1	1
加 賀 市 民 病 院	—	1	—	2	—	3
そ の 他	—	—	1	—	—	1
計	3	10	5	24	17	59

表6 未熟児等母乳哺育支援事業実施状況（リスク要因別）

	実人員	実施回数
未 熟 児	35	58
多 胎 児	10	16
そ の 他	47	86
計	92	160

表7 健やかすくすく教室実施状況

平成21年度

	開催日	会 場	実 施 内 容	参 加 者
1	H21. 6. 26	南加賀保健福祉センター	講話・実技「発達を促すための運動」 講師 石川県立中央病院 理学療法士 守山 知子 氏	保護者 7名 児 9名
2	H21. 7. 24	南加賀保健福祉センター	講話「離乳食のすすめ方」試食 講師 石川県南加賀保健福祉センター 管理栄養士 田中 孝子	保護者 10名 児 12名
3	H21. 8. 21	南加賀保健福祉センター	講話・実技「子どもの事故・SIDS予防」 講師 日本赤十字社石川県支部 幼児安全法指導員 田村 幸子 氏	保護者 2名 児 2名

4	H21. 9. 24	南加賀保健福祉センター	講話・実技「産後のお母さんのからだど健康」 講師 ゆたか助産院 助産師 吉田 みち代 氏	保護者 6名 児 9名
5	H21. 10. 23	南加賀保健福祉センター	講話「小さく生まれた子どもの発達」 講師 金沢大学附属病院 小児科医師 井上 雅之 氏	保護者 8名 児 9名
6	H21. 11. 20	南加賀保健福祉センター	講話・実技「発達を促すための運動」 講師 石川県立中央病院 理学療法士 守山 知子 氏	保護者 3名 児 3名
7	H21. 12. 18	南加賀保健福祉センター	講話「離乳食のすすめ方」試食 講師 石川県南加賀保健福祉センター 管理栄養士 田中 孝子	保護者 3名 児 3名
8	H22. 1. 22	南加賀保健福祉センター	講話・実技「子どもの事故・SIDS予防」 講師 日本赤十字社石川県支部 幼児安全法指導員 田村 幸子 氏	保護者 5名 児 5名
9	H22. 2. 25	南加賀保健福祉センター	講話・実技「産後のお母さんのからだど健康」 講師 ゆたか助産院 助産師 吉田 みち代 氏	保護者 6名 児 6名

\* 毎回、希望者には個別相談、身体計測実施

#### 「すくすく親の会」育成支援状況

親の会は、既存の市町の育児サークル等を紹介し、参加者同士交流が図られるよう対応した。また多胎育児ネットや多胎児の育児サークルが

実施した講演会や交流会に参加し、会の育成に向け支援した。

表8 外国出身ママ支援事業

平成21年度

	開催日時	会場	スタッフ	参加状況	母の出身国名
育児相談会	H21. 6. 9 10:00～11:30	北陸先端科学技術大学院大学	大学院：医師・看護師 能美市：保健師、保育士 保健所：通訳、保健師 管理栄養士	5組	中国、チュニジア、 ベトナム、エジプト
	H21. 12. 8 10:00～11:30			4組	
	H21. 9. 6 10:00～11:30	能美市宮竹コミュニティセンター	能美市：保健師 保健所：通訳、保健師 管理栄養士	2組	中国、ベトナム、 インドネシア
	H22. 3. 10 10:00～11:30			5組	
訪問	随 時	—	能美市：保健師 保健所：通訳、保健師	4件	ドイツ、韓国(2件)、 マレーシア

#### (5) 母子保健支援事例検討会

##### ア 目的

母親の育児不安や産後うつ病等の状況を早期に捉えて支援するとともに、妊産婦の心のケアが実施できる体制の整備するために、月1回程

度、管内市町と検討会にて今後の支援方法等について検討を行う。

##### イ 実施状況(表9)

表9 各市町における検討会開催状況

平成21年度

市町名	開催回数	参加者（延人員）		
		保健所保健師	市町保健師（栄養士）	福祉課・児童家庭課等
小松市	12	22	56	11
加賀市	12	12	50	20
能美市	10	18	54（9）	13
川北町	9	17	16	—

## (6) 乳幼児事故予防啓発事業（SIDS含む）

## ア 目的

1歳から4歳までの子どもの死亡原因の第一位は「不慮の事故」である。そこで、乳幼児の育児を担当する者に対し育児環境の見直しや緊急時の対応について学習会などを開催

し、子どもを事故やSIDSから守る。

## イ 対象者

保護者、保育担当者、市町の母子保健担当者

## ウ 実施状況（表10）

表10 SIDS、乳幼児事故予防啓発事業実施状況

平成21年度

開催状況	会場	実施内容	参加者
随時	面接相談、育児教室及び訪問指導	個別相談、育児教室における講話、リーフレットの配布事故予防用品紹介	
1回 (H21.8.21)	南加賀保健福祉センター	健やかすくすく教室にて講話・実技 「子どもの事故・SIDS予防」	保護者 2名 児 2名
2回 (H22.1.22)	南加賀保健福祉センター	健やかすくすく教室にて講話・実技 「子どもの事故・SIDS予防」	保護者 5名 児 5名

## (7) 親支援のためのグループケアモデル事業

## ア 目的

虐待あるいは虐待に陥る可能性のあることで悩む親に対し、個別ケアと併せてグループワーク手法を取り入れたケアを行うことにより、親自身の心理的病理の回復を促し、虐待の未然防止を図る。

## イ 対象者

強い育児不安や育児困難を感じ、虐待傾向を認識している母親で、家庭や地域で孤立し精神的ケアを必要とする母親。

## ウ 実施内容（表11）

表11 グループケア実施状況

開催回数	参加者	
	親	子ども
24回 (月2回)	実 3人 延 8人	実 2人 延 7人

(8) 母子保健事業検討会

ア 目的

妊娠早期から出産後の育児期まで一貫して関わっている管内市町の母子保健担当者が管内の状況、課題について把握し検討するこ

とで、管内の母子保健事業の強化及び充実を図る。

イ 実施内容(表12)

表12 母子保健担当者連絡会実施状況

平成21年度

開催状況	会場	実施内容	参加者
H22.2.1	南加賀保健福祉センター	検討テーマ 「ハイリスク妊産婦に対する妊娠期からの支援について」 1) 妊娠届出の遅い事例への支援の見直し、課題整理、意見交換 2) 研究報告会	各市町母子保健担当者 保健所保健師等 計 13名

(9) 子どもの心のケアネットワーク事業

ア 目的

ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害などの様々な子どもの心の問題について、管内における医療・保健・教育・福祉関係者が連携したネットワーク包括体制を構築する。

イ 対象者

発達障害児(者)への診断や療育及び支援に関わ

っている管内の関係機関職員

ウ 実施内容(表13)

- a 子どもの心のケアネットワーク研修会及び支援事例検討会
- b 発達障害児支援のための関係機関連絡会及び学習会

表13 子どもの心のケアネットワーク研修会等実施状況

平成21年度

事業内訳	開催日	講師・助言者	内容	参集機関(者)等
研修会	H21.11.27 9:45~11:45	宮城県こども総合センター所長 本間博彰 医師	ミニシンポジウム 「発達障害支援の中で見つかった疑問」	管内市町児童福祉及び障害福祉担当課 教育委員会、中学校、特別支援学校 医療機関、警察署、児童相談所 障害者就労・生活支援センター 県少子化対策監室、保健所等の担当者 実30名(延60名)
支援事例検討会	13:30~16:00		事例検討	
関係機関連絡会・学習会	H21.5.8 H21.5.20 H21.7.27 H22.2.19 H22.2.26	事例主治医 児童相談所 心理士 児童福祉司	事例検討	管内市町児童福祉及び障害福祉担当課 県・市教育委員会、小中学校、保育所 医療機関、児童相談所、保健所等の事例支援担当者 延65名

(10) 思春期からの健康相談等連携事業

ハイリスク妊産婦の要因となる思春期からの心や身体的問題を予防し、また困難事例の早期発見と早期対応を目的とする。

指すために、医療機関・市町・保健福祉センター等の関係機関の連携について研修会等を開催し検討した。

表14 子どもの心のケアネットワーク研修会等実施状況

平成21年度

事業内訳	開催日	対象	実施内容
意見交換会及び研修会	H22. 1. 14～	管内産科医療機関助産師	ハイリスク妊産婦等への支援に係る巡回意見交換会 22名
	..... 1. 25 H22. 2. 9		ハイリスク妊産婦等への支援に係る意見交換会及び研修会 27名
事例検討会	H22. 2. 10 H22. 3. 16	知的障害を持つ妊産婦事例支援に関わる職員	事例検討会 延 16名

2 小児慢性特定疾患相談・訪問状況

ア 目的

小児慢性特定疾患患児及びその家族の適切な在宅療養生活の確保のため医療機関や市町、教育委員など関係機関と連携を密にし、下記のとおり相談等を実施した。

イ 相談状況（表15）

小児慢性特定疾患医療費公費負担申請時に保健師による面接を行い、状況を把握し、病気や療養生活についての相談に応じている。またその他の来所、電話相談は随時対応した。

表15 小児慢性特定疾患別相談指導人員

平成21年度（単位：人）

区 分	実人員	延人員
悪 性 新 生 物	6	8
慢 性 腎 疾 患	4	5
慢 性 呼 吸 器 疾 患	2	2
慢 性 心 疾 患	36	63
内 分 泌 疾 患	16	20
膠 原 病	2	2
糖 尿 病	4	7
先 天 性 代 謝 異 常	4	4
血友病等血液・免疫疾患	2	2
神 経 ・ 筋 疾 患	1	1
慢 性 消 化 器 疾 患	1	1
計	78	115